

岩切市民センターにおいて講演を行いました (2019/12/07)

テーマ：長町-利府線断層帯、活断層、地震、社会貢献

場 所：岩切市民センター（仙台市）

URL：<https://www.sendai-shimincenter.jp/miyagino/iwakiri/index.html>

2019年12月07日、岩切市民センターにおいて、岡田真介助教（災害理学研究部門 長期地殻変形・地質構造研究分野）が『内陸直下型地震「長町-利府線断層帯の現状と影響」』と題して、活断層に関する講演を行いました。仙台には長町-利府線断層帯が分布しており、3,000年の活動間隔を持ち、最大でマグニチュード7.5の地震を起こすと考えられています。講演が行われた岩切地区は、七北田川と長町-利府線断層帯が交わる位置にあり、日頃から防災に関心が高い地域です。活断層に関する基礎知識から、長町-利府線断層帯におけるこれまでの研究成果や被害想定等について講演を行いました。地質断層と活断層の違い、地元の史跡との関係、マンツルの熱対流によるプレート運動に関する質問もありました。講演には約45名の参加者がありました。



岡田助教による講演の様子



会場の様子

文責：岡田真介（災害理学研究部門）

写真：岩切市民センター提供